

EPLAN

efficient engineering.



EPLAN Harness proD 2024 の新機能

PROCESS CONSULTING

ENGINEERING SOFTWARE

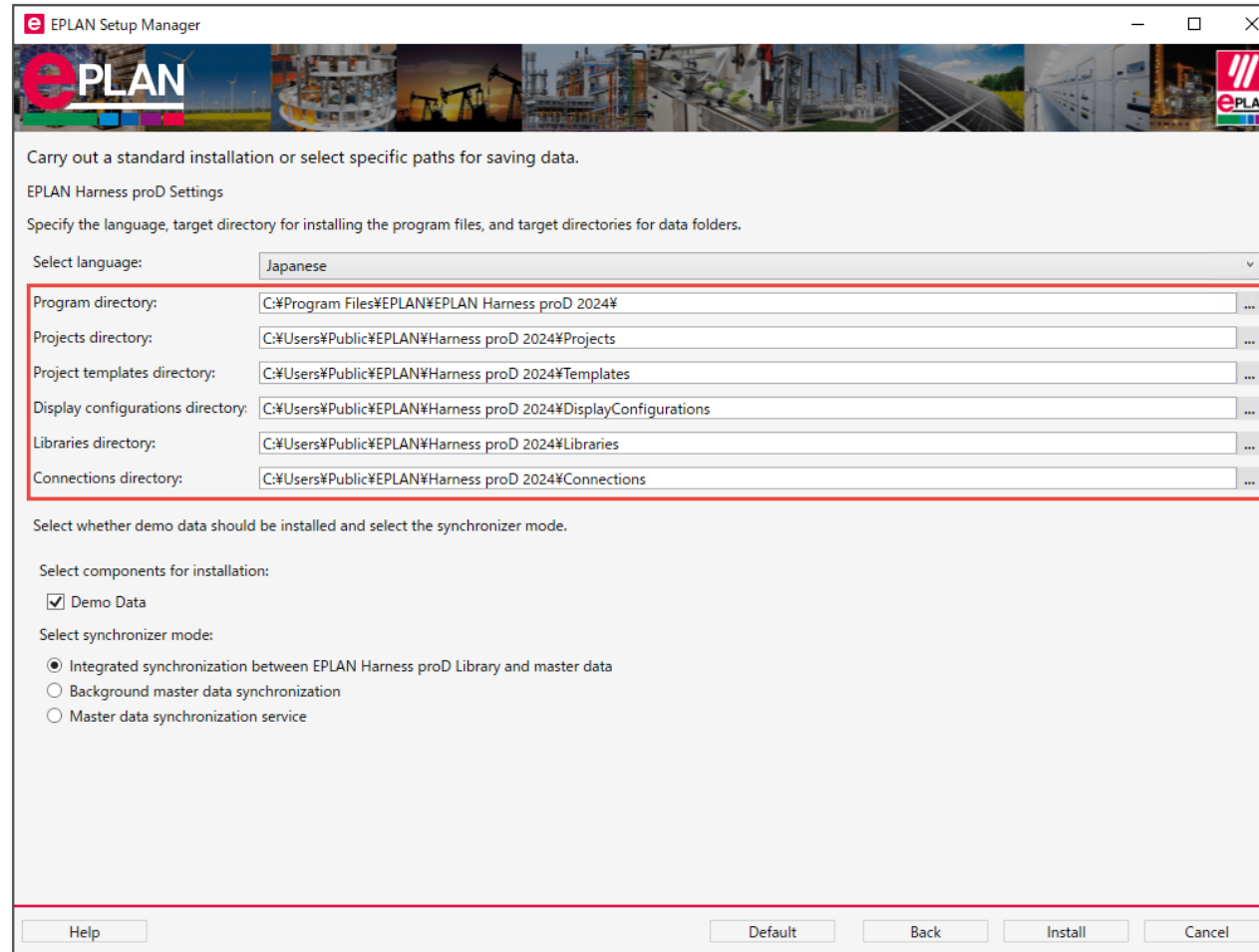
IMPLEMENTATION

GLOBAL SUPPORT



カスタム既定パス

プロジェクト ファイルの既定のディレクトリをカスタマイズできるようになりました。
これはセットアップ中、もしくは EPLAN Harness proD の設定で行うことができます。



EPLAN Cloud

EPLAN Harness proD を起動するときに、EPLAN IDのサインインが必要になりました。

EPLAN Identity Client

EPLAN
efficient engineering. EPLAN Harness proD

サインイン

電子メールアドレス

パスワード

サインイン状態に保つ 30日間有効 [パスワードをお忘れですか?](#)

[サインイン](#)

EPLAN Cloud を使用するのははじめてですか? [今すぐ EPLAN ID を作成しましょう](#)

また
は

[Microsoft アカウントでサインイン](#)

[Google でサインイン](#)

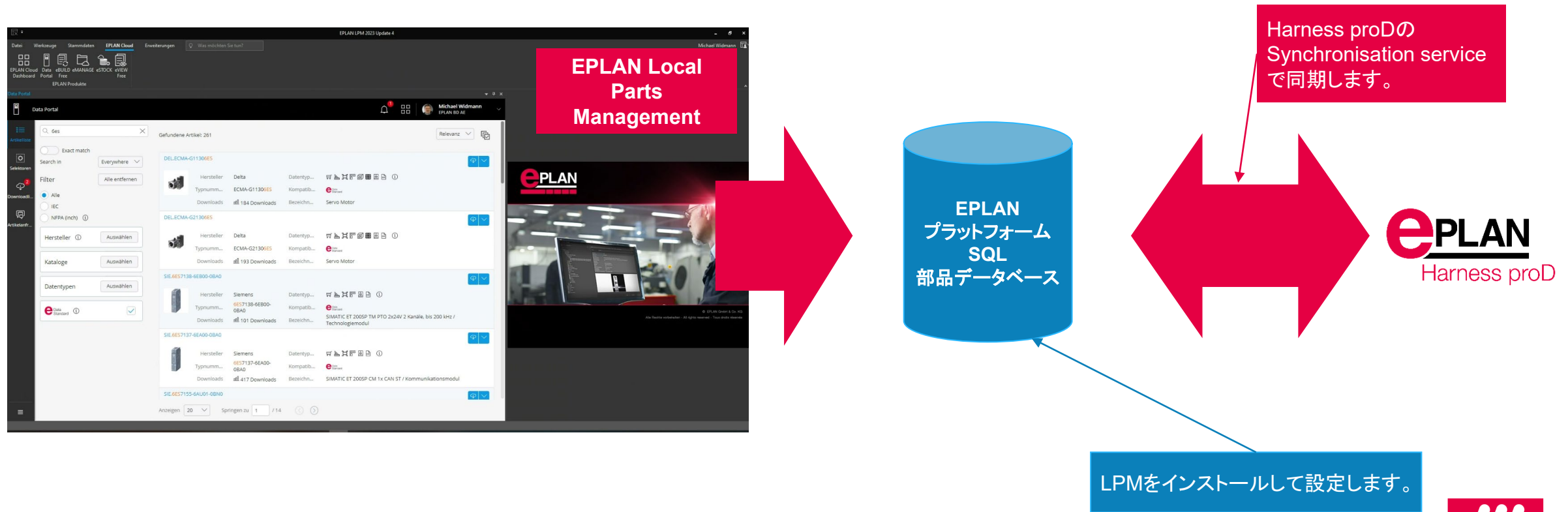
サインインすることで、EPLAN Cloud の利用規約に同意します。

[後でサインイン](#)

EPLAN プラットフォームの統合

EPLAN LPM ライブラリで新しいプロパティおよび部品を使用できるようになりました。
これらの機能強化により、EPLAN プラットフォーム プロジェクトと EPLAN Harness proD をよりシームレスに同期できます。

※SQL serverが必須となります。

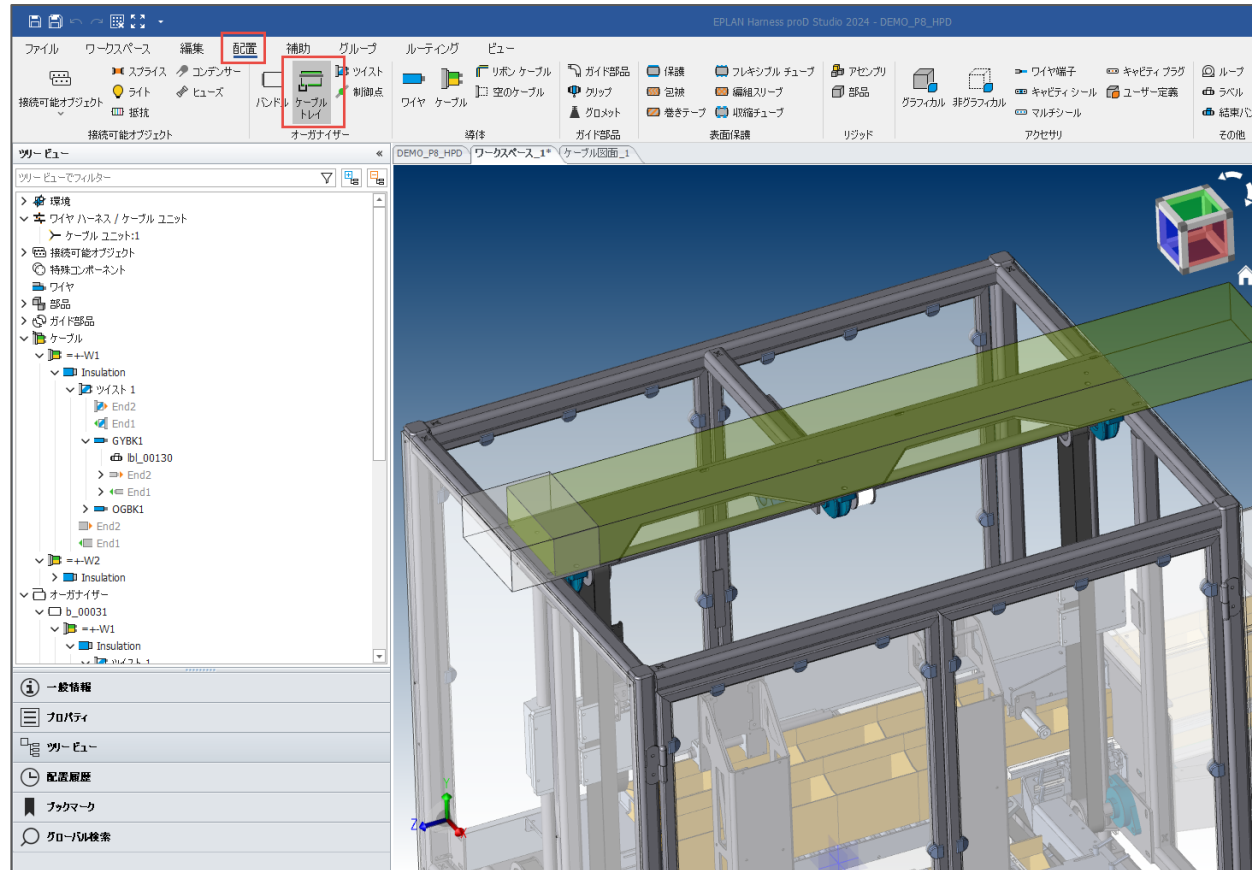


ケーブルトレイ

ケーブルトレイという新しいタイプのオーガナイザーを使用できるようになりました。

ケーブルトレイは、複数のバンドルを個々のマシン間または大規模な設備でルーティングするときに便利です。

※現時点では、ケーブルトレイは仮想のみで、EPLAN Harness proD Library で部品として登録することはできません。



EPLAN インポート パネル

3D マクロが搭載されたワイヤ端子を EPLAN インポート パネルから配置できるようになりました。

The screenshot displays the EPLAN software interface. On the left is a 2D schematic diagram with various components and labels. In the center, a 3D model of a blue terminal is shown. On the right, a panel titled '接続可能オブジェクト:' (Connectable Objects) lists various components, with one entry highlighted in red. Below this panel, there is a section for 'ワイヤ / ケーブル:' (Wires / Cables) with a checked option for 'ワイヤを自動配置' (Automatically place wires).

部品番号	ソース	ターゲット
→+OUT-X1		
→+OUT-X2		
→+ANCT7		
→+ANCT8		
→+OUT-X3		
WEI.902578000		

部品番号	ソース	ターゲット
→+W1		
→+W2		

ガイド部品シンボルの寸法点

ガイド部品の 2D シンボルにカスタム寸法点を使用できるようになりました。このような寸法点は、EPLAN Harness proD Library の 2D ウィンドウに追加したり、EPLAN Harness proD Studio ネイルボードドキュメントで使用したりできます。

